



2024年9月 第764号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

せかいなんみんいじゅうどうしゃ きょうこう
 「世界難民移住移動者の日」 教皇メッセージ（2024年9月29日）

神はその民とともに歩まれる親愛なる兄弟姉妹の皆さん。

世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会は、2023年10月29日に第1会期を終了し、教会本来の召命であるシノダリティについての理解を深めることができました。「シノダリティは、おもに、神の民の共同の旅として、また、み国の到来に奉仕するカリスマと奉仕職の実りある対話として提示されます」。

教会は、シノドス的次元の強調により、歴史を歩む神の民、すなわち天のみ国を目指す旅人——いわば「移民」としての、旅する己の本性の再発見に至ります。約束の地へと向かうイスラエルの民を描いた、出エジプトの聖書の記述が自然と思い起こさせるのは、奴隷状態から解放への長い旅で、それは終わりの日の主との出会いまで続く教会の旅の予表です。

同じく現代の移民——どの時代の移民もですが——にも、永遠のふるさとへの途上にある神の民の実像を見ることができます。彼らの希望の旅は、次のことを思い起こさせます。「わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています」（フィリピ3・20）。

出エジプトと移民という二つの像には、いくつかの共通点があります。モーセの時代のイスラエルの民のように、移民は多くの場合、抑圧や虐待、情勢不安や差別、発展の機会の不足といった状況から逃れるのです。砂漠のヘブライ人と同様、移民もまたその旅路において多くの障害に遭遇します。飢えと渇きに耐え、苦労や病で疲弊し、絶望に傾くのです。

ですが移住にとって、あらゆる移住にとっての根本的な事実とは、神はご自分の民の旅路で、そして時代と場所を超えそのすべての子らの旅路で、先頭に立って、ともにいてくださ



っているということです。その民のただ中に神がおられるのは、救いの歴史において確かなことです。「あなたの神、主は、あなたとともに歩まれる。あなたを見放すことも、見捨てられることもない」（申命記 31・6）。エジプトを脱出した民にとって、この現存はさまざまなかたちで顕示されます。雲の柱と火の柱は、道を示して照らします（出エジプト 13・21 参照）。契約の箱を納める臨在の幕屋は、神が近くにおられる確かなしるしとなります。青銅の蛇のついた旗竿は、神の保護を約束します（民数記 21・8-9 参照）。マナと水は、飢え渴いた民への神からの恵みです（出エジプト 16~17 章参照）。天幕は、主がとりわけ喜ばれた臨在のかたちです。ダビデの治世に、神は神殿に囲われるのを拒み、ご自分の民とともに「天幕から天幕へ、幕屋から幕屋へと」（歴代誌上 17・5）歩めるよう、天幕を住まいとし続けることを望まれました。

多くの移民は、神を旅の仲間、導き手、救いの錨として実感しています。出発の前から神に身をゆだね、苦しいときには神により頼みます。気持ちが沈むときには神になぐさめを求めます。神のおかげで、道すがら、よいサマリア人と出会います。祈りを通して、神に希望を託します。どれだけの聖書が、福音書が、祈禱書が、ロザリオが、いくつもの砂漠、川、海を渡り、大陸の境を越える旅路の移民たちとともにあるか、想像してみてください。

神は、ご自分の民とともに歩むだけでなく、ご自分の民の中でも歩いておられます。歴史の中を旅する人々、とりわけいちばん弱い人、貧しい人、隅に追いやられた人に、ご自身を重ねておられるという意味で、受肉の神秘の拡大であるかのようにです。

ですから移民との出会いは、助けを必要としている兄弟姉妹一人ひとりとの出会いと同様、「キリストとの出会いでもあるのです。キリストご自身がそう語っておられます。飢えて、渴いて、よそから来て、裸で、病を患い、牢にいて、顔を見てほしい、助けてほしいと求めながら、扉をたたいている人はキリストなのです」（ローマ郊外サクロファーン近くの移民受け入れ施設「フラテルナ・ドムス（友愛の家）」を会場にした集会——「不安からの解放」参加者とのミサ説教、2019年2月15日）。マタイ福音書 25 章で語られる終わりの日の裁きに、疑う余地はありません。「お前たちは、わたしが……旅をしていたときに宿を貸してくれた」（35 節）、そして「はっきりいっておく。わたしの兄弟であるこのもっとも小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」（40 節）という裁きです。ですから旅路の出会いの一つ一つが主との出会いの機会であり、それは救いの任務を負う機会なのです。

わたしたちの助けを必要とする兄弟姉妹のうちに、イエスはおられるからです。その意味で、貧しい人はわたしたちを救います。彼らがわたしたちを、主のみ顔に引き合わせてくれるからです。親愛なる兄弟姉妹の皆さん。難民、移住者、移動者にささげられたこの日に、尊厳ある生活環境を求めて祖国を離れなければならなかったすべての人のために、心を合わせて祈りましょう。

彼らとともに旅する意識をもって、ともに「シノドス」を築きましょう。そして彼ら皆を、そして次期シノドス総会をも、「旅を続ける忠実な神の民にとって確かな希望と慰めのしるしであるおとめマリアの執り成し」にゆだねましょう。

いのり

ぜんのう ちち かみ
全能の父なる神よ、

わたしたちは天のみ国へと向かって歩む、

あなたの旅する教会です。

わたしたちはそれぞれ自分の祖国にいても、

異国の民のように暮らしています。

あらゆる異国の地がわたしたちにとって祖国であっても

わたしたちにはどの祖国も異国の地なのです。

ちじょう く
地上に暮らしていても、

わたしたちの国籍は天にあります。

あなたが仮の住まいとして与えてくださった世の一部を

しはい もの
支配する者とならないよう、

わたしたちを導いてください。

あなたが用意してくださった永遠の住まいに向かって、

いじゅう もと きょうだいしまい
移住を求める兄弟姉妹とともに

あゆ つづ
歩み続けることができるよう支えてください。

わたしたちの目と心を開いてください。

たす ひつよう ひと
助けを必要とする人との一つ一つの出会いが、

あなたの子、わたしたちの主イエスとの出会いとなりますように。

アーメン。

ローマ、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂にて

2024年5月24日、扶助者聖マリアの記念日

(カトリック中央協議会 Hp より抜粋)

フランシスコ



おしらせ



1 けいろう つど 敬老の集い

9月15日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂にて敬老の集いが行われます。
対象者は75歳以上の信徒の方となります。対象者のご家族の方には、軽食を用意してありますので、ぜひ一緒に参加をお願いいたします。

2 きょうかい いんかい 教会委員会

9月8日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂にて教会委員会が行われます。
※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください。

3 せかいなんみんいじゅういどうしゃ ひ けんきん 世界難民移住移動者の日の献金 (9月29日)

「世界難民移住移動者の日」は、9月最終日曜日です。1970年、時の教皇パウロ6世が、教皇庁移住・移動者司牧評議会を設立したことを受け、「各小教区とカトリック施設が、国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々と『共に生きる』決意を新たにする日」として設立されました。

「世界難民移住移動者の日」では、おもに滞日・在日外国人、海外からの移住労働者、定住・条約難民、外国人船員や国際交通機関の乗組員とその家族のために「祈り・司牧的協力・献金」がささげられ、それらは日本カトリック難民移住移動者委員会を通じて、幅広く支援に役立てられています。

4 ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会

- ・6月に皆様から寄付を頂きました。たくさんの食品を7月16日に山梨フードバンクに届けました。ご協力ありがとうございました。
- ・毎月第1日曜日 9:00~教会の庭等の草刈りを行います。ともに活動していただける参加者を募集しています。
- ・フリーマーケット 11月10日開催 11:30~13:30 (予定)

5 きてん 帰天のおしらせ

トマス 小林 正年さん(こばやし まさとしさん) 96才(山城ブロック)
8月10日帰天されました。8月17日 南口ロイヤルシティホールにて葬儀ミサが行われました。小林様の在りし日を忍び、永遠の安息をお祈り致しましょう。

6 ひなくんれん せいそうかつどう 避難訓練・清掃活動

9月22日（日）集会祭儀後、避難訓練と清掃活動が行なわれます。無理しない範囲でご協力お願いいたします。

7	女性会	9月 1日（日）	11：30 ～	ドミニコの部屋
8	きずなの会	9月 11日（水）	10：00 ～	センターホール
9	典礼委員会	9月 21日（土）	9：30 ～	センターホール
10	地域福祉委員会	9月 22日（日）	11：30 ～	サンタルチア講堂
11	広報委員会	9月 29日（日）	11：30 ～	センターホール



「敬老の集い」を行います！

- 1) 日時 9月15日（日） ミサ後 1時間ほど
- 2) 場所 サンタルチア講堂
- 3) 目的 主イエス・キリストとともに永い年月を過ごされた教会の先輩方に敬意を表するとともに、神様からの祝福をみんなで願うため。
- 4) 対象 お祝いされるのは75歳以上の方です。
お祝いするのは上記以外のすべての信徒の皆様です。

※ どなたでも参加できる会ですので、皆様お誘い合わせてご参加ください。

- 5) 内容
 - ① 記念撮影（神父様との集合写真）
 - ② 神父様よりお祝いの言葉
 - ③ 食事（参加するすべての皆様のお食事を用意します）、茶興（フィリピングループ、教会学校）
 - ④ 記念品プレゼント
 - ⑤ 代表者挨拶

※ とても心温まる楽しい会となりますので、是非、ご参加ください！



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



9月 1日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第22主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
9月 6日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
9月 8日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第23主日	10:30 15:00	ミサ ポルトガル語 (Português)
9月 15日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第24主日	10:30 12:30	ミサ 韓国語ミサ (한글)
9月 22日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第25主日	10:30 14:00	しゅうかいさいぎ 集会祭儀 ひなんくんれん せいそうかつどう 避難訓練・清掃活動 英語ミサ (English)
9月 29日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第26主日	10:30	しゅうかいさいぎ 集会祭儀
10月 4日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
10月 6日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第27主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)

月定献金振込先（教会維持費）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先（毎年1月～5月中に）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人（宗）カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

